

# 取扱説明書

**DAYTONA**

S10154①/⑧

\*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

\*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

<b>ホットグリップヒーター</b> <b>ビルトイン4Sn</b> (グリップエンド貫通タイプ)	適応車種	商品NO.
	汎用 (ハンドル径 22.2mm用)	10154

## ■ご使用前に必ずご確認ください■

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 <b>警告</b>	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 <b>注意</b>	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 <b>実施</b>	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 <b>禁止</b>	禁止の行為であることを告げるものです。
 <b>高温注意</b>	表記の注意を告げるものです。	 <b>その他</b>	その他の警告及び注意を告げるものです。
 <b>水ぬれ禁止</b>	表記の注意を告げるものです。		

### ⚠️注意

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この商品は 12V 専用です。バッテリーレス車、及び 6V 車への取り付けはできません。</li> <li>この商品は、Φ22.2 ハンドル用です。Φ25.4 (1 インチ) の車両へは取り付けできません。</li> <li>スズキ原付スクーターにグリップの内径が細い車両があります。(アドレス 110/V100 等約 19mm)このような車両には取り付けできません。取り付け作業前にハンドル外径・スリーブ径を計測・確認してください。</li> <li>EFI (インジェクション車) 車両は、12V の電源が確保できても、車体診断コネクターへこの商品を取り付けしないでください。</li> <li>作業を行なう場合は、濡れた手で作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合、感電する可能性があり大変危険です。</li> </ul>
 <b>実施</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取付作業に入る前に、商品単独で通電確認を行ない、グリップが暖まることを必ず確認してください。(説明書内、作動確認参照)ハンドルバー取付後、断線などによる作動不良クレームはお受けできません。(※製品上のトラブルは除く。)</li> <li>グリップ取り付けの際は、配線ミスによるショート防止のため、作業に入る前に必ずバッテリーのマイナス端子を外し、ショートしないよう絶縁した上で作業してください。</li> <li>頻繁にストップ&amp;ゴーの繰り返しで短距離走行ではバッテリーへの充電が不十分です。電装部品の追加となり消費電力も多くなります。そのようなご使用状況の際は、走行後充電するなど日々のバッテリーメンテナンスを必ず行なってください。</li> <li>EFI (インジェクション車) やイモビライザー装着車、各灯火類に LED が純正採用されている車両などへの配線については特に注意してください。</li> </ul>

 <p>実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• EFI車では、コンピューターで電力の制御をしている車両がありホットグリップに限らず電力供給に関して過電流があると電力カットする車両があります。電力制限のない配線を確認して接続してください。</li> <li>• LED ランプなどは消費電力を抑えており配線の線径が細いものがあります。配線の異常過熱の原因となりますので絶対に配線しないでください。</li> <li>• イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。</li> <li>• 車体に装備されたメーカーオプション品を取り付けるための電源コネクターを使用する際には、必ず検電作業を行ない、ACC オンの状態で 12V が確保されていることを必ず確認してください。5V 出力車や、アイドリング時と走行時で電圧が変化する車両があります。</li> <li>• この商品取付後、グリップの電源を入れる前に必ずエンジン始動および H.I.D. システム（装着車の場合）を点灯始動してください。手順を逆にすると予期せぬバッテリートラブルの原因となります。</li> <li>• 商品の装着前に必ず、上記項目に関する車両の特徴をご確認ください。また必要に応じて、車両メーカー等への問い合わせをお願いします。</li> <li>• 定期的にグリップの接着状態の点検を行なってください。ホットグリップの熱影響、接着剤の経年変化、脱脂不十分、汚れ落とし不十分等により接着が不十分な場合、グリップが抜ける可能性があります。</li> <li>• この商品のグリップは消耗品です。グリップ表面にキズ、亀裂、内部フィルムヒーターの露出が見られる場合は絶対に使用しないでください。また上記不具合がみられた場合はグリップを新品交換してください。</li> <li>• 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常カ所を点検してください。異常があった場合、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へ必ずご相談してください。</li> </ul>
 <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 車両によっては純正スロットルスリーブにスベリ止めのリブが立っているものがあります。スロットルスリーブ外径をグリップ内径に合わせて削り落とすなどの作業をしてホットグリップを取り付けしてください。<u>無理にグリップをねじ込んだりプラスチックハンマー等で叩いたりしてしまうとグリップ内部の配線を痛めてしまいます。</u></li> <li>• この商品の内側は、ねじれ防止のため樹脂製となっております。そのため通常のグリップを装着する取付作業（エアの使用）はできません。接着剤を使用し滑り込ませる方法で取り付けを行ってください。</li> <li>• この商品の内側は樹脂製です。純正スロットルスリーブにスベリ止めのリブが無い場合でも切削加工が必要となる場合があります。</li> <li>• ホットグリップのスイッチ操作はエンジン始動後に行なってください。エンジン停止時にホットグリップを使用しますとバッテリーの消耗が早まってしまいます（メインキー ON の時だけ電力が供給されます）。注）消費電力が大きい商品ですので暖気運転ではバッテリーを消費します。長時間の暖気運転時にはご注意ください。</li> <li>• 長期使用等で性能が著しく低下したバッテリーの場合、商品を取り付けることによってバッテリー上がりのトラブルや商品が正常に動作しない場合があります。</li> <li>• ジェネレーター容量の小さい車両に商品を取り付けた場合、充電能力不足でバッテリートラブルを引き起こすことがあります。</li> <li>• 温度レベル 3、4 は常時使用しないでください。バッテリートラブルや、やけどの恐れがあります。定期的にレベル 1 へ切り替えてご使用ください。</li> </ul>
 <p>高温注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>この商品を使用する場合は、必ず厚手で冬用グローブを着用してください。素手または薄手のグローブでは低温やけどの恐れがあります。</u></li> <li>• <u>長時間の使用は、低温やけどの恐れがあります。無意識のうちにやけどをする危険性があり目安として 30 分に 1 回程度電源スイッチを OFF にするなどしてご使用ください。</u></li> <li>• <u>冬用グローブ着用時でも低温やけどの恐れがあります。ご注意ください。</u></li> </ul>

## 本商品の特徴

- バーエンドが装着可能なグリップエンド貫通タイプのホットグリップです。
- 電源 ON 時に最大 4 分間の急速暖房を行なうクイックヒート機能搭載。
- グリッパー一体型 4 段階スイッチでボタンを押すたびに温度レベルを切替可能。

## 不適合確認車両

- 原付一種／原付二種等、発電能力不足車や交流（AC）車、またはハンドルが細い（Φ19）車両。
- クルザーモデル（ハーレーダビッドソン）などの1インチ（Φ25.4）ハンドル採用車。
- マジェスティ初期型（4HC）などの発電能力不足のためバッテリー充電が追いつかない車両。
- 純正グリップ長が極端に短い車両（115mm以下）

## 商品諸元

- 作動電圧:DC12V
- グリップ全長:120mm（左右）
- グリップ外径:約 33.6mm（左右）
- グリップ内径:右側・内径約 24.4mm  
左側・内径約 21.2mm

### 消費電力

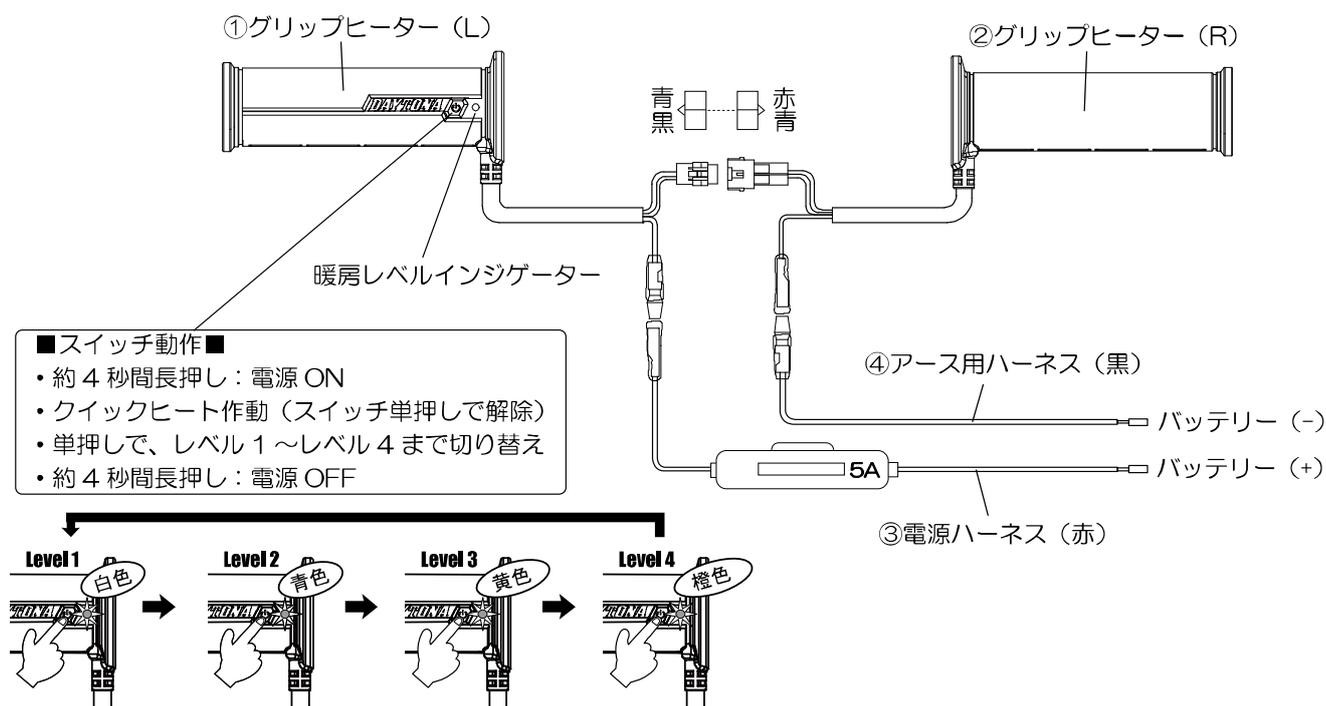
LEVEL 設定	消費電力	表示LED色
LEVEL1	約 12W	白色
LEVEL2	約 19W	青色
LEVEL3	約 28W	黄色
LEVEL4	約 32W	橙色
クイックヒート	約 32W	赤点滅

## 商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	グリップヒーター-L	内径 21.2mm	1	⑤	結線コネクタ		2
②	グリップヒーター-R	内径 24.4mm	1	⑥	結束バンド	150mm	2
③	電源ハーネス	5Aヒューズ付	1	⑦	エンドキャップ	中空パイプハンドル用	2
④	アース用ハーネス		1				

## 作動確認

- ①/②グリップヒーターL/Rの作動確認をします。（※温まるか動作の確認）  
下図を参考に①/②グリップヒーターL/Rと③電源ハーネス、④アースハーネスを接続します。
- バッテリー（12V）のプラスとマイナス端子に③電源ハーネス、④アースハーネスをそれぞれつなげます。  
①グリップヒーターLのスイッチを入れ、温まることが確認できたらテストは終了です。  
※テストは約1分程度を目安としてください。それ以上の単品作動は商品の破損や、バッテリーの消耗につながります。  
また濡れた手で作業することによる感電の防止や、近くに火気がないことを確認し、十分注意しながら作業してください。
- 実際の温めテストで異常がある場合は購入先や弊社にご連絡ください。商品を詳しく検査いたします。



**取付手順**

※下記の作業を開始する前に必ず上記の作動確認を行なってください。

1. 車体バッテリーのマイナス端子を取り外し、ウエスや絶縁テープなどで絶縁してください。
2. 左右の純正グリップを取り外します。
3. ハンドルやスロットルスリーブなどに残った接着剤をきれいに除去してください。  
スロットルスリーブの外径を②グリップヒーター右の内径に合わせて切削加工を行なってください。  
(純正グリップすべり止めの、リブがある場合は取り除いてください)
4. ①&②グリップヒーターの内側を脱脂剤等を使用して脱脂します。合わせてハンドルやスロットルスリーブも脱脂してください。脱脂や汚れ落としが不十分ですと、グリップの接着がはがれる原因となり大変危険です。
5. 電源を取り出す配線を確認します。

※以降の事例は参考です。車両や仕様により電源は異なります。テスターなどで電圧の確認や、配線図などで確認して安全・確実に配線してください。

**【プラス側の電源取り出し参考例】**

※電源線の取り出し場所によっては配線の延長が必要になる場合がございます。必要に応じて配線を延長してください。また配線を延長する際は同じ太さの線を使用し、被覆径で 2mm 以下の配線は絶対に使用しないでください。

**(a) フロントブレーキマスターのストップランプスイッチを利用する。**

テスターを使用し、イグニッションキーONの時だけ 12V 以上の電圧が出力されている配線を使用する。2 極の端子のうち片側は 12V が出力されていませんのでご注意ください。接続には付属の⑤結線コネクタなどを利用してください。

**(b) テールランプの常時点灯(スモールランプ)の配線を利用する。**

テスターを使用し、イグニッションキーONの時だけ 12V 以上の電圧が出力されている配線を利用する。ブレーキランプの線に接続をするとブレーキ作動時のみしか電気が流れませんのでご注意ください。接続には付属の結線コネクタなどを利用してください。

**(c) 車体アクセサリ電源を利用する。メインキーONの時だけ電源(12V)が入る線を利用する。****⚠注意**

※以下の接続は絶対にお止めください。(プラス・マイナス電源とも禁止です)

1. ヘッドライト・ウインカー・ホーン・メーター照明への接続。
2. 細い配線(被覆径で2mm以下の線)には不可。特に LED テールランプ装着車は注意。
3. プラス電源をバッテリーへの直接接続。(マイナス電源のアース配線は可能)
4. コンピューターユニット・イモビライザー等への配線。

## 【マイナス側の電源の接続】

### ■マイナス側の電源接続参考例

※アース線の取り出し場所によっては配線の延長が必要になる場合がございます。必要に応じて配線を延長してください。また配線を延長する際は同じ太さの線を使用し、被覆径で 2mm 以下の配線は絶対に使用しないでください。

(1) ボディーアースを利用する。

※フレーム等に塗装がされている場合は塗装を削り確実にアースしてください。

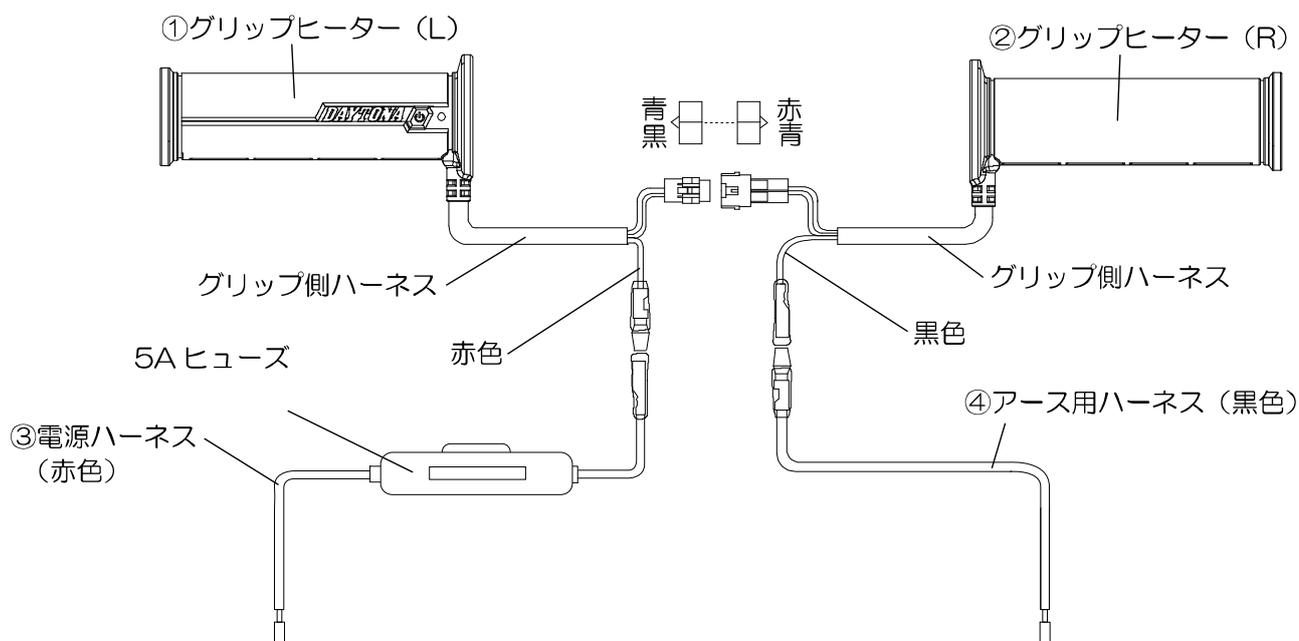
(2) バッテリーのマイナス端子を利用する。

※アースを確実に取る場合にオススメです。

## 【ホットグリップ配線図】

純正ハーネス色		
メーカー名	プラス側(赤)	マイナス側(黒)
ホンダ	赤/黒 または黒	緑
ヤマハ	茶 または茶/青	黒
スズキ	オレンジ	黒/白
カワサキ	茶	黒/黄

左表の純正ハーネス色については参考資料となります。車種によっては色が異なる場合があります。必ずサービスマニュアルやテスターでご確認ください。



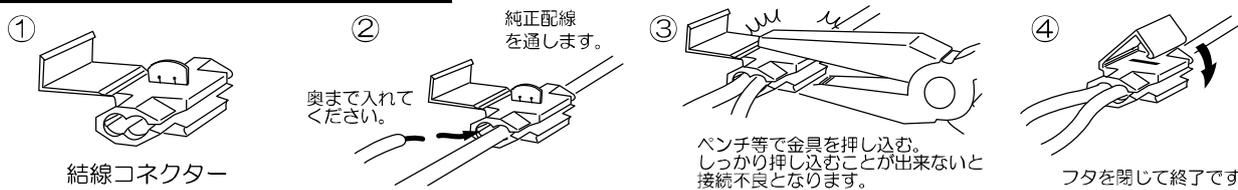
イグニッション ON の時、12V 以上の電圧が出力される配線へ

※⑤結線コネクターの使用、または結線部に合わせて配線加工を行なってください。

ボディーアースまたは、バッテリーのマイナス端子へ

※⑤結線コネクターの使用、または結線部に合わせて配線加工を行なってください。

## 結線コネクターの使用方法



※配線の被覆は剥がさず使用します。

※接続後は導通確認をし、接続不良に十分ご注意ください。

6. ①/②グリップヒーター(L/R)を車体へ取り付けします。

脱脂した①/②グリップヒーター(L/R)の内側に接着剤を塗ります。塗りすぎに注意。また、グリップが取り付けハンドル側・スロットルスリーブ側にも接着剤を塗ります。

接着剤は熱の影響を受けないものを使用してください。**デイトナ推奨接着剤(ホットグリップ専用接着剤)をお勧めいたします。**ご使用方法については接着剤の取り扱い説明書にしたがってお取り扱いください。(デイトナ推奨接着剤以外をご使用の場合、熱により接着剤がはがれてグリップが抜ける恐れがあります。) ※ホットグリップ専用接着剤(速乾) 品番：79280/¥1,000(税抜)

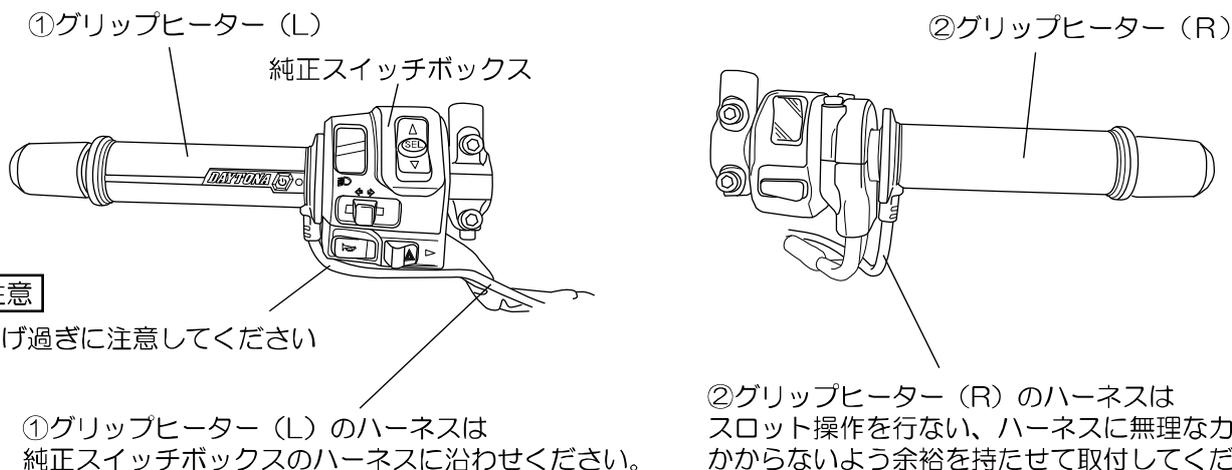
①/②グリップヒーター(L/R)から出ているハーネスを車体下側の位置にセットし、慎重にハンドルバー(スロットルスリーブ)に差し込みます。

- ・はみ出した接着剤はウエス等でふき取ってください。
- ・②グリップヒーター(R)から出ている配線のとりまわしは、数回スロットル操作を行ない、配線に無理な力がからないよう余裕をもたせてください。

※ 定期的にグリップの接着状態の点検を行なってください。ホットグリップの熱や、接着剤の経年変化、脱脂不十分、汚れ落とし不十分等により、短時間でグリップが抜ける場合があります。

※接着剤初期硬化時間：約40分(外気温23℃) 完全硬化時間：24時間

※接着剤が完全硬化するまでは接続確認用の一時的な加熱のみとし、ホットグリップを加熱して使用しないでください。接着剤はがれの原因となります。



7. ①グリップヒーターL、②グリップヒーターRのコネクターを接続します。

8. 車体マイナス電源コード、プラス電源コードは⑤結線コネクターなどを使用して接続してください。

9. ⑥結束バンドで各配線コードをまとめます。

10. 必要に応じて⑦エンドキャップをハンドルへはめ込みます。

※⑦エンドキャップは、中空のパイプハンドル用です。

11. 本商品が正常に動作することを確認してください。正常に取り付けが出来ていることが確認できたら、外したパーツを元に戻して作業は終了となります。

### 【使用上の注意】

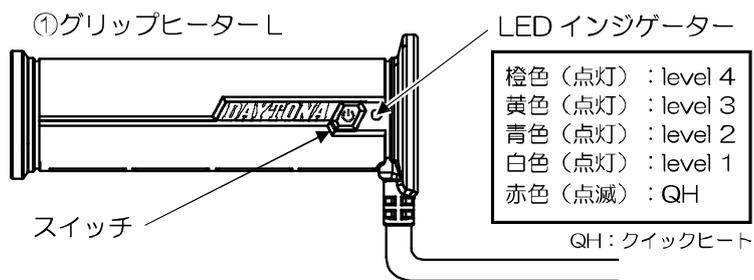
○この商品は、H.I.Dシステム（装着車のみ）等の高電圧ユニットとの同時装着を考慮しておりますが、使用条件によって誤作動を起こす場合があります。エンジンを始動し、H.I.Dシステム点灯（装着車のみ）後、本商品の電源をONにしてください。

○この商品は、グリップ温度をパルス発信回路にて制御しています。

車体のメーターに使用している電源ラインから本商品の電源をとった場合、バッテリー電圧の低下や設定温度によっては、メーター照明がちらつく場合があります。

本商品が電流を多く使用するために起こる現象ですので商品の不具合ではございません。症状が発生した場合には、プラス側の電源を車体メーター配線以外の配線から取るよう変更してください。

### 操作方法



### ホットグリップの電源を入れる

ホットグリップの電源をONにする。

ホットグリップの電源がOFFのとき、スイッチを約4秒間長押しする。

ホットグリップの電源をOFFにする。

ホットグリップの電源がONのとき、スイッチを約4秒間長押しする。または車両のイグニッションキーをOFFにする。

※ホットグリップの電源をONにすると、クイックヒート機能で4分間の急速暖房後、前回電源をOFFにした時に設定されていた温度レベルになります。

### ホットグリップの設定温度を切り替える

#### クイックヒート機能（急速暖房）

ホットグリップの電源をONにした時、必ず動作します。最大4分間、自動で働きますが、キャンセルして通常暖房に戻したい場合にはクイックヒート中に操作スイッチを1回押します。

（インジケーター（赤LED）点滅 → インジケーター（設定レベルのLED）点灯）

クイックヒート中は設定されている温度レベルのインジケーター色ではなく、赤LEDが点滅します。

（例、温度レベル2に設定してあった場合でも、赤LEDのインジケーターが点滅します。）

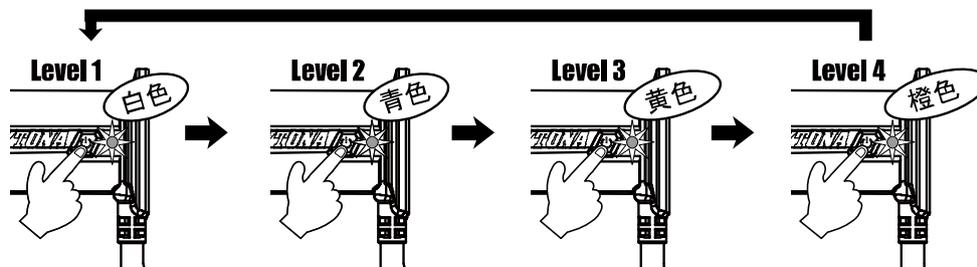
4分間のクイックヒートが終わると自動で設定レベルの通常暖房に切り替わります。

（インジケーター（赤LED）点滅 → インジケーター（設定レベルのLED）点灯）

※加熱温度は温度レベル4と同等です。温度レベル4に設定してあった場合にはクイックヒート中であってもグリップ温度は温度レベル4以上には上がりません。

#### 設定温度を切り替える

通常暖房中にスイッチを押すことで温度レベルが切り替わります。



※通常暖房中は設定されている温度レベルのインジケーターが点灯します。

※製造上の都合により、設定した温度レベルのインジゲーター内に、別の設定温度のインジゲーター色が入り込んでしまいますが異常ではありません。（例：レベル1白色点灯時に、黄色が少し見える等）

## 補修部品

商品名	品番	本体価格（税抜）
補修グリップ左側 貫通	16023	¥6,000
補修グリップ右側 貫通	16024	¥6,000
電源ハーネスセット	16025	¥700

### トラブルシューティング Q&A

#### Q グリップがあたたまらない。（電源が入らない）

A

- ① スイッチ操作は 4 秒間の長押しです。スイッチを長めに押してください。
- ② 各配線のキボシ・結線コネクタはしっかり接続されているか確認してください。
- ③ アース用ハーネス（黒色線）がしっかり接続されているか確認してください。  
特にボディアースの場合は塗装を剥がしたところにしっかりアースがされているか確認してください。  
アース不良では発熱が弱まります。
- ④ 電源ハーネス接続部の接触を確認してください。
- ⑤ バッテリーは弱っていないか。テスターなどで 12V 以上電圧が発生しているか確認をする。12V 以下となると発熱が弱まります。バッテリーを充電するか新品に交換してください。
- ⑥ テスターなどで電源線の電圧を確認ください。アイドル時と走行時で供給電圧に差が出ている場合、発熱に影響を及ぼします。誠に申し訳ございませんが車両側で制御している場合は症状の改善が困難となります。
- ⑦ スイッチ操作を行ってもインジケータの LED が点灯しない場合はグリップの発熱線が断線している可能性があります。購入先や弊社にご連絡ください。くわしく検査をいたします。  
グリップの取り付け時にグリップがねじれ断線する恐れがあります。  
取り付け時発生の不具合については保証対象外となります。ご注意ください。

#### Q 左右でグリップ温度に違いがでている。

A

- ① グリップの構造とハンドルの素材などを考慮し、左右のグリップの温度差を少なくするため内側を樹脂製としていますが、左側はハンドルに直接グリップが取り付けられるためハンドルに熱が逃げってしまう事があります。電源スイッチは左側グリップ内蔵となるため、スロットル側(右側)と比較すると温度上昇に差が出てしまう場合があります。あらかじめご了承ください。  
汎用品のため車両によっては温度・暖まり具合が異なる場合があります。

#### Q グリップが熱くなりすぎる。

A

- ① ホットグリップの電源をONにしたときには必ずクイックヒート機能（急速暖房機能）が働きます。クイックヒート機能が熱いと感じる場合には操作ボタンを1回押してクイックヒート機能をキャンセルしてください。
- ② バイクの再始動時等、すでにグリップが加熱され熱を帯びている状態でホットグリップの電源をONした場合、設定している温度レベル以上にグリップ温度が上昇する場合があります。この場合には、クイックヒート機能をキャンセルして温度レベルの設定を“1”にして温度が安定するまでしばらく待ってからご乗車ください。

#### Q グリップが長い。短くカットできますか。

A

- ① 左右のグリップヒーターの内側は樹脂製です。  
そのため短くカットすることはできません。（※ワイヤリング固定はできません）

東証JASDAQ上場  
株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805  
URL: <https://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで